

体感。感動。感謝。NBUのCOC事業をお伝えします。

文部科学省
地(知)の拠点



coc-nbu.jp

April 2018

Nippon Bunri University, COC MAGAZINE

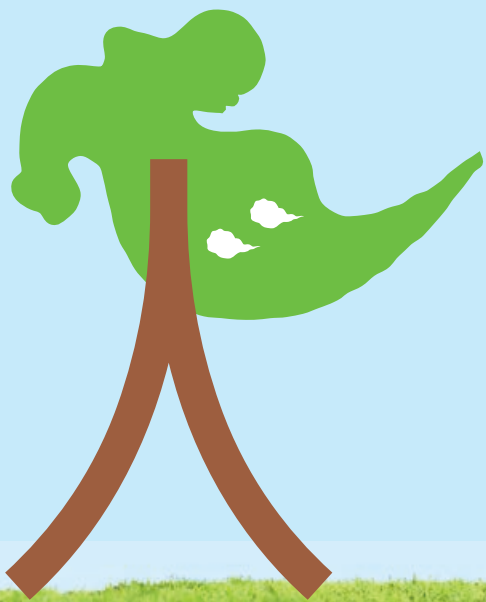
日本文理大学COC事業
おおいた、つくりびと

日本文理大学COC事業

おおいた、つくりびと

NBUが大分で育む、
豊かな心と地域愛。

数字で見る 『学び』



体感。



感動。



感謝。



No. **17**



おおいた、つくりびと になるためには、

地域の課題を自ら感じ・発見しながら、主体的・創造的に課題解決へ取り組み力を身に付け、社会で活躍できる人材を育成することを目指しています。

これを段階的に身に付けるために、3つのステップを体感・実践することで、段階的に『おおいた、つくりびと』になる力を習得していきます。

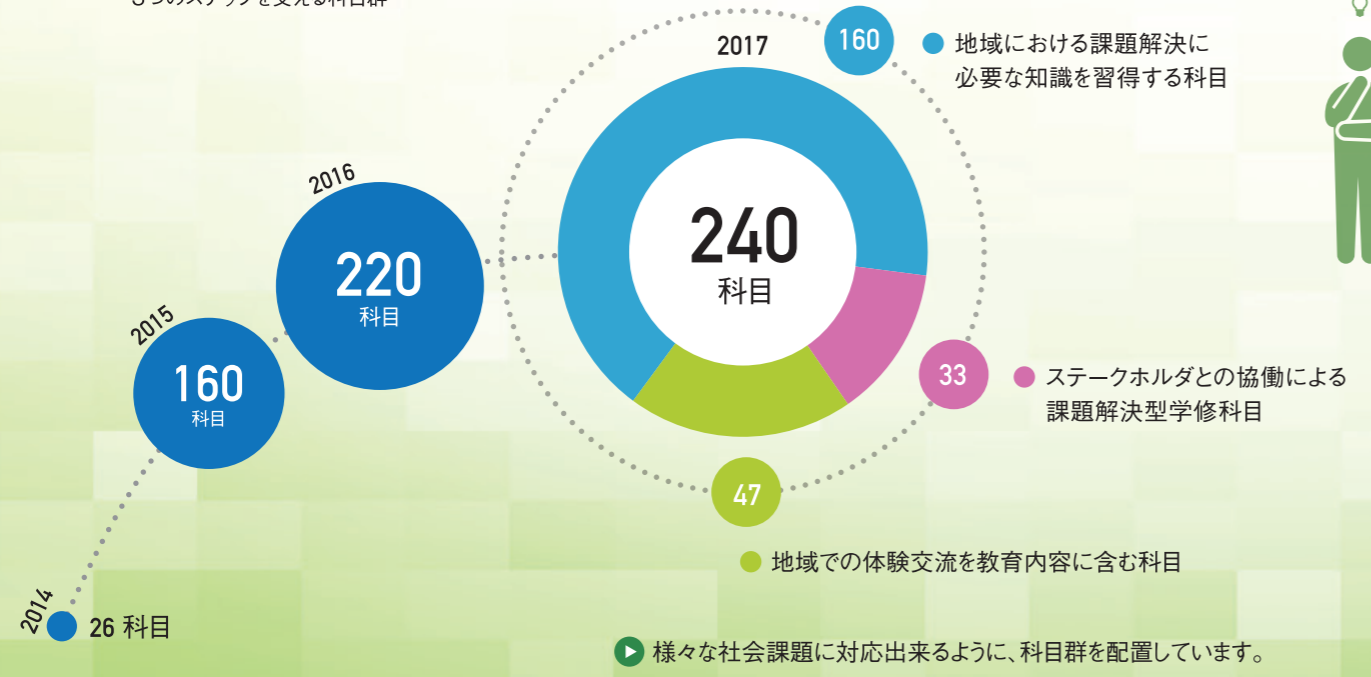
- ① 地域での交流を通して、現状や魅力を感じながら地域の課題を考える：「地域での体験交流活動」
- ② 課題を解決するために必要な知識・技術を取得する：「知識習得」
- ③ 地域のステークホルダとともに課題解決に協働する：「課題解決型学修」

NBUでは、この3つのステップからなる「学修サイクル」に基づいた科目群を、「地域志向科目」として配置し、効果的に学べる仕組みを作っています。

▶ 「地域創生人材」育成のための学修サイクル ～『おおいた、つくりびと』になるための3つのステップ～



▶ 地域志向科目について ～3つのステップを支える科目群～



おおいた、つくりびと の特徴的な地域志向科目

工学部と経営経済学部の特徴的な地域志向科目を紹介。複数年次にわたって、大きなテーマの下に科目群を配置し、プロジェクト型授業を行っています。



工 「ものづくり」から見えてくる地域課題 ～工学部専門基礎科目『ロボットプロジェクト』科目での実践～

人口変動にともなう医療福祉問題、産業構造の変化や生産の効率化など様々な社会の問題に対して、学生自ら課題を見つけ、「モノ」を創ることで、創造的に課題解決に取り組める。そんな人材を育成するためにプロジェクト型の教育プログラム作りを目指しています。その中では、「地域に生きるものづくり」をテーマとして大分市木佐地区との連携や、「シカケ(仕掛け)」を通して社会課題に取り組む「シカケプロジェクト」などを実践しています。

「ロボットプロジェクト」科目を通して、主体的に学ぶ力や、専門教育において必要な素養を身に付けるとともに、創造的に問題解決する力を養う。



関連科目：『ロボットプロジェクト入門1, 2』『ロボットプロジェクト基礎1, 2』

経 学生の視点で捉えた豊後大野の魅力 ～豊後大野市の地域資源を活用した『サービスマーケティング』科目への展開～

地域資源観光に経営の概念を取り入れ、地域が顕在的・潜在的にもつ魅力を観光資源として発掘・利活用。まちづくりマーケティングによって観光サービスを持続可能な事業へとプロデュースし実践する能力を備えた人材の育成を目指しています。サービスマーケティング科目群(経営経済学科)では、視察やヒアリングをとおして豊後大野の観光における地域資源の魅力の発見や現状、課題を議論。学生おすすめのツアープランを提案したり、食と豊肥本線を主軸とした豊後大野の魅力伝えるプロモーション活動を行っています。



関連科目：『フィールド・スタディIA, IB』『サービス・ラーニングII, III』

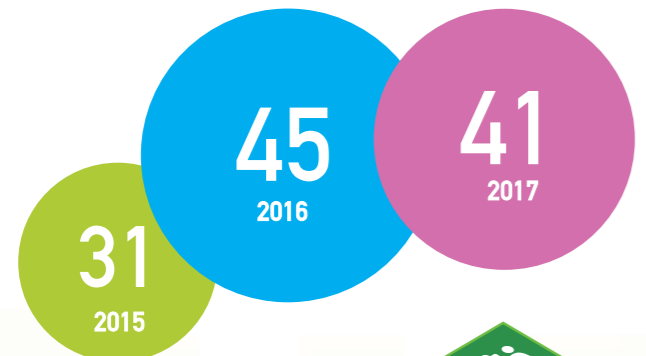
おおいた、つくりびと が実践するプロジェクト

『おおいた、つくりびと』では、地域課題に対して「7+1の視点」を持ち、大学で学んだ知識・技術を使いながら、地域における「プロジェクト」として、ステークホルダと共に取り組んでいます。実践から得られた経験をもとに、知見を広げ、学習を深めることで、次のステップである研究へと進んでいきます。

実施したプロジェクト数 (2015 ~ 2017)



プロジェクト実施件数の推移



刻々と変化する地域課題に対して、ステークホルダとともに「プロジェクト」を実施しています。

「7+1」のプロジェクトテーマに対して、様々な視点から「プロジェクト」を実践。

プロジェクト1: 小規模・高齢者が深刻な集落におけるコミュニティ維持・活性化

プロジェクト2: 「地域にいきるものづくり」を目指したプロジェクト科目の実践
ものづくりによる地域貢献～被災時避難所としての廃校活用提案～

プロジェクト3: 豊後大野PR動画プロジェクト

プロジェクト4: 「シカケ」から見える地域課題 シカケプロジェクト
「おおいた地域創生リーダー養成講座2017 in 三重町」の取り組み

プロジェクト5: 地域住民主体の地域づくり支援 ○総合型地域スポーツクラブの教室・イベントを通じた教育実践活動

プロジェクト6: 地域活性化プロジェクト「楽・楽マルシェ」での取り組み

プロジェクト7: 動画ニュース制作「地域の芽、学生の目 NBUビデオ通信」

プロジェクトL: ジェネリックスキル養成研修

プロジェクト1: 人口減少社会を支えるための先進的な「ものづくり」

プロジェクト2: 『おおいた、つくりびと』育成のための地域志向科目・正課外活動

プロジェクト3: 商店街の活性化による地域振興

プロジェクト4: NPO法人の活動・経営支援

プロジェクト5: 健康増進および生活支援によるコミュニティ維持

プロジェクト6: 地域ブランドの発掘による交流人口の増加・産業の活性化(6次化)

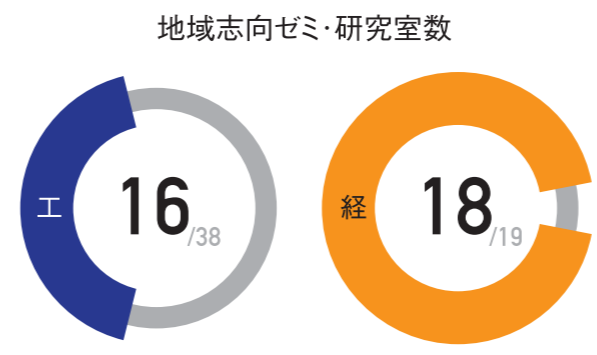
実践

学び ▶ 研究

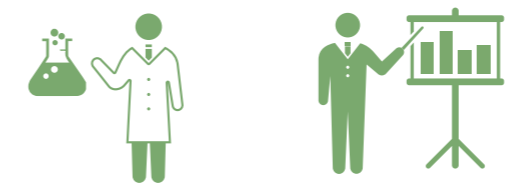
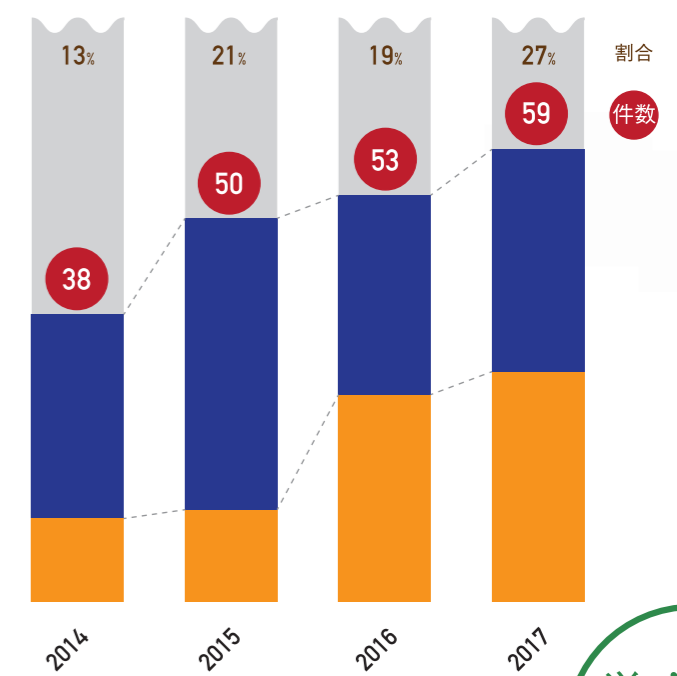
おおいた、つくりびと が取り組む地域志向研究

地域志向科目群での学修、地域のステークホルダと協働するプロジェクトを通して得られる経験と、大学の「知」を結びつけ、地域志向研究として発展させ、その成果を社会に還元することを目指します。

ゼミや研究室活動での地域志向性



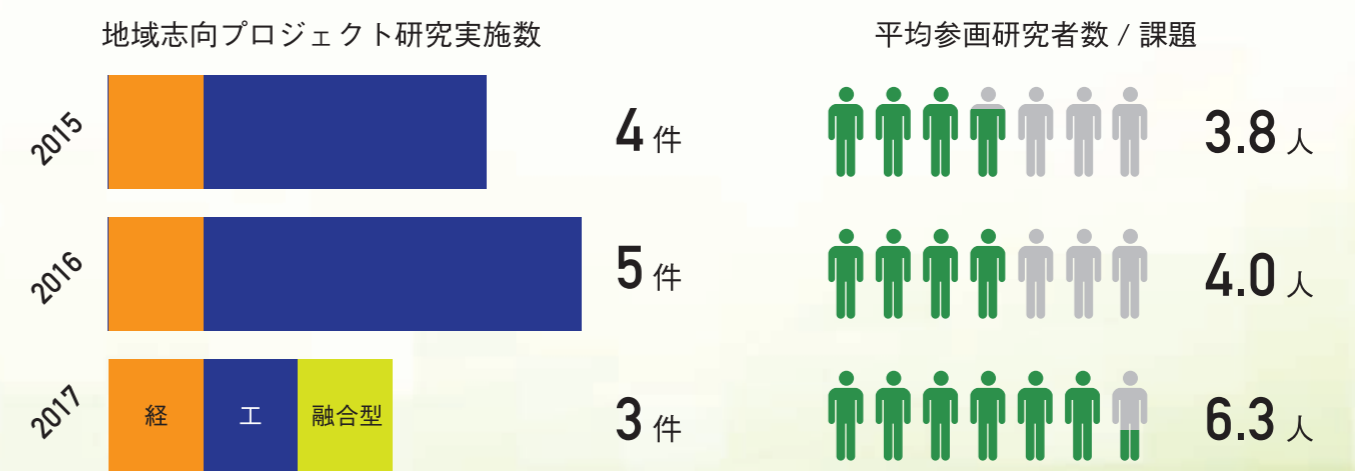
地域志向 卒業研究・論文数 (4年次)



「プロジェクト」の経験を活かしながら、卒業研究・論文に取り組んでいます。

学び ▶ 社会

地域志向プロジェクト研究について



地域課題の複雑性に合わせて、様々な専門領域の研究者がチームを組み、1つの課題に多角的にアプローチしていきます。



おおいた、つくりびと をより体系的に学ぶために

地域づくり副専攻

各学科による専門教育の枠を越え、社会で活躍するために必要な複眼的な思考力、もしくはこれからの時代に必要不可欠な汎用的能力について、体系的かつ実践的に学ぶことに主眼をおいた制度です。

『地域づくり副専攻』では、地域が誇るべき資源を理解する能力を習得し、ステークホルダとより良い地域社会を主体的につくるために必要なジェネリックスキル(汎用的能力)を身に付けることを目指します。



おおいた、つくりびと で学んだ内容を

社会で活かせる人材に。



- 2014 ● 大学 COC 事業 採択
● チャレンジ OITA 人材育成フォーラム 2014
- 2015 ● チャレンジ OITA 地域創生活動報告会 2015
● COC 事業共同記者会見
(大分県立看護科学大学と共同開催)
● 佐賀関地区学生活動拠点開設
- 2016 ● 第1回 成果報告 & 合同シンポジウム
(大分県立看護科学大学と共同開催)
● チャレンジ OITA 地域創生活動報告会 2016
● 豊後大野市学生活動拠点開設
● 木佐上地区学生活動拠点開設
● 九州・沖縄 COC インカレキャンプ in 湯布院
- 2017 ● 第2回 成果報告 & 合同シンポジウム
(大分県立看護科学大学と共同開催)
● チャレンジ OITA 地域創生活動報告会 2017
● NBU 日本文理大学創立 50 周年記念式典
COC 事業活動報告
● 地域創生特集号 発刊 (日本文理大学紀要)
- 2018 ● チャレンジ OITA 地域創生活動報告会 2018

日本文理大学「地(知)の拠点整備事業(大学 COC 事業)」

『豊かな心と専門的課題解決力を持つおおいた地域創生人材の育成』

本事業では、大分県の地域課題である少子高齢社会を豊かに乗り切るために必要な豊かな心と、専門的課題解決力を兼ね備える「地域創生人材」=“おおいた、つくりびと”を育成することを目指しています。

それを実現するために、県内の少子高齢化が深刻な地域での「体験交流活動」をはじめとし、「課題解決に必要な知識の修得」、「ステークホルダとの協働による課題解決型学修」を実践する教育カリキュラムを整え、社会貢献活動との有機的な接続、それらに基づく研究プロジェクト活動を推進することで、「地(知)の拠点」となり、今後の社会を担う「地域創生人材」の育成に努めています。

●事業連携自治体：大分県、大分市、豊後大野市

実施期間：2014 年度～2019 年度(5ヶ年間)



おおいた、つくりびと が実践する3分野

教育

×

体感

地域への愛着を持ち、主体的に課題を発見し、専門的なスキルを活用して住民や関係者とともに、地域の課題解決に取り組むことができる人材を育成するために必要な力をつける学修サイクルの確立を目指します。



感動。



地域課題を効率的かつ実践的に解決でき、地域に直接還元できるための、分野を超えたプロジェクトチームを形成。地域の課題解決につなげていきます。

研究

×

感動

社会貢献

×

感謝

県民と学生の協働学習・協働実践が実現しやすい環境を整えとともに、行政と連携した講座等を開講し、地域再生・活性化を推進していきます。



くわしくはNBUの
COC特設サイト

coc-nbu.jp へ



〒870-0397 大分県大分市一木1727
TEL.097-592-1600(代表)
<http://www.nbu.ac.jp>

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 大学院 工学研究科 | 環境情報学専攻 | 航空電子機械工学専攻 |
| 工学部 | 航空宇宙工学科 | 機械電気工学科 |
| 経営経済学部 | 情報メディア学科 | 建築学科 |
| | 経営経済学科 | |